

2019年6月4日

報道資料

AI Infinity 株式会社
株式会社 FRONTEO

AI Infinity、FRONTEO と OEM 契約を締結 自然言語処理 AI エンジン「KIBIT」を提供開始し、 より多様な課題解決を推進

AI Infinity株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：春芽 健生）と株式会社 FRONTEO（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本 正宏）は、「KIBITビジネスパートナー」としてOEM契約を締結したことを発表しました。本契約に基づき、AI Infinityは、FRONTEOが独自開発した自然言語処理AIエンジン「KIBIT（キビット）」を同社のテキスト事業製品として提供開始します。

FRONTEOの「KIBIT」は、専門家や業務熟練者の経験に基づく「暗黙知」を学習し、その判断軸に沿ってテキストデータを高い品質で効率的に評価する人工知能です。少量の教師データで短時間での高精度な解析を実現します。独自の機械学習アルゴリズムを用いることで、従来のテキストマイニングや検索技術では困難な表現の類似性や文脈を捉えることができ、文章毎の特徴量を抽出できる点が大きな特徴です。これまでに、化学・機械・素材などの製造業や各種金融機関を始めとする幅広い業界で、営業支援・日報分析、人事・労務、カスタマーサポート、技術開発や商品開発・マーケティングなど多岐にわたるビジネスシーンで活用されています。

AI Infinityは、自然言語処理、音声認識、画像解析といった最先端のAI技術要素を融合させ、価値を創出し、企業が抱える様々なビジネス上の課題を解決するとともにビジネスを成功へと導くAI Integrator（Aler）企業です。

AI Infinityは、「KIBIT」の高い自然言語処理技術と運用定着ノウハウを高く評価し、今回のOEM契約に至りました。今回の提携を機に、AI Infinityは、同社の有するその他のAIソリューションやサービスと合わせて「KIBIT」を活用することで、お客様の様々なビジネスシーンにおける業務効率や生産性を飛躍的に高めることができるようになります。特に、AI Infinityが提供する、人間が原文を読んで要約する感覚に近い自然言語処理機能を有した「AI Infinity Text Summary^{*1}」と「KIBIT」の連携により、あらゆる業種や業務におけるテキストデータの有効活用が見込めます。例えば、要約したビジネス文書を教師データとして、KIBIT搭載の「Find Answer^{*2}」にインプットすることで、どこにどのような文書があるのか類似度を比較し、保管場所を素早く特定する、といったことが可能になります。

この仕組みにより、大量の文書ファイルを保管するためにキャビネットスペースを確保する必要がなくなることから、オフィススペースの大幅な削減・効率的活用ができ、各企業で検討が進む「働き方改革」を支援できるようになると考えています。

<AI Infinity 代表取締役社長 春芽健生のコメント>

AI Infinity は、この度の FRONTEO との OEM 契約締結により、自然言語処理分野で高く評価され豊富な実績を持つ「KIBIT」の OEM 販売を開始できることを、大変喜ばしく思っています。数多くある AI 技術の中でも、特に応用範囲が広く、活用用途が多様なのが「自然言語処理」に関する技術です。これを機に、より多くのお客様の課題解決およびビジネスの発展に貢献できると期待しています。

<FRONTEO 代表取締役社長 守本正宏のコメント>

FRONTEO は、最先端 AI 技術を提供する AI Integrator (Aler) 企業の AI Infinity とのこの度の OEM 契約を通して、より幅広いお客様層へ「KIBIT」の活用が拡大することを願っています。FRONTEO は、170 社以上のお客様への「KIBIT」導入・運用で培ったノウハウを活かし両社のビジネス拡大を推進します。

* 1: AI Infinity Text Summary について

人間が原文を読んで特定の量にまとめようとする感覚に近い形で要約できる、自然言語処理機能を搭載。ルールベースとは一線を画した技術により、例えば1万文字の文書を35%に要約することが可能。

* 2: Find Answer について

自然言語処理 AI エンジン「KIBIT」を搭載した Q&A システム。入力された自然文から質問の意図を読み取り、求められる回答を高精度かつ迅速に提示する。

【AI Infinity 株式会社 について】

AI Infinity 株式会社は、「Road to AI & Lead to AI」をミッションとする日本の AI リーディングカンパニーです。AI に携わるビジネスパーソンを育成・養成するカリキュラムを始め、データ精査やデータ生成を支援する AI アノテーションや AI プリパレーションサービスを提供いたします。また、AI 自然言語処理技術の中核として、AI 音声認識技術や AI 画像解析技術といった様々な最先端の人工知能 AI 技術要素を融合化させて価値を創出し、AI コンサルティングを通じて、お客様の課題を解決していく AI Integrator (Aler) です。2017 年 12 月設立。資本金 46,400,000 円（資本準備金含む）。提携企業数 171 社（2019 年 5 月末時点）。ホームページ：<https://aii.cloud/>

【株式会社 FRONTEO について】

株式会社 FRONTEO は、独自開発の人工知能エンジン「KIBIT」により、ビッグデータなどの情報解析を支援するデータ解析企業です。国際訴訟などに必要な電子データの証拠保全と調査・分析を行う e ディスカバリ（電子証拠開示）や、デジタルフォレンジック調査を支援する企業として 2003 年 8 月に設立。自社開発のデータ解析プラットフォーム「Lit i View（リット・アイ・ビュー）」、日・中・韓・英の複数言語に対応した「Predictive Coding（プレディクティブ・コーディング）」技術などを駆使し、企業に訴訟対策支援を提供しています。このリーガル事業で培われ、発展した「KIBIT」を始めとする独自の人工知能関連技術は、専門家の経験や勘などの「暗黙知」を学び、人の思考の解析から、未来の行動の予測を実現します。ヘルスケアやビジネスインテリジェンスなどの領域に展開し、FinTech や RegTech に加え、「働き方改革」でも実績をあげています。2007 年 6 月 26 日東証マザーズ、2013 年 5 月 16 日 NASDAQ 上場。資本金 2,559,206 千円（2019 年 3 月 31 日 現在）。2016 年 7 月 1 日付けで株式会社 UBIC より現在の社名に変更しております。ホームページ：<http://www.fronteo.com/>

* 記載されている会社名、製品名およびロゴは、各社の登録商標または商標です。

* 記載されている情報は、発表日現在のものです。最新の情報とは異なる場合がありますのでご了承ください。

【報道関係者からのお問い合わせ先】

AI Infinity 株式会社 代表取締役社長 最高経営責任者 春芽 健生 (Kensei Harume)

TEL : 03-6260-8450 E-mail : info@aii.cloud

株式会社 FRONTEO 広報担当 高橋、河本

TEL : 03-5463-6380 E-mail : pr_contact@fronteo.com